

一問一答質問項目表

日本共産党
尾村利成

1. 滞納国民健康保険料（税）の非道な徴収実態について

- ① 松江市の国民健康保険加入世帯は2万7,000世帯である。そのうち、年間1万件を超す差し押さえ予告通知を出している。徴収ありきの異常な取り立てと言わざるを得ない。また、出雲市は、2年で滞納解消を迫り、払いたくても払えない滞納者に生活実態を無視した強圧的な対応を取っている。このような徴収第一主義の実態をどのように考えているのか伺う。（部長）

2. 看護師の勤務環境改善について

- ① 夜勤は有害業務であり、保護と規制の実現が求められる。看護師の過酷な勤務実態をどう認識しているのか伺う。（部長）
- ② 夜勤規制、夜勤改善について看護師確保法の基本指針、厚労省5局長通知、1965年の人事院夜勤判定、看護協会のガイドラインは、どのように規定しているのか伺う。（部長）
- ③ 基本指針（夜勤負担の軽減）が現場において遵守されているのか、その実態を伺う。（部長）
- ④ 確保法第8条に沿い、県として病院の開設者に対し、基本指針に定める事項について指導・助言を強化すべきと考えるが、所見を伺う。（部長）
- ⑤ 使用者は、タイムカードを導入するなど、労働時間を適正に把握すべきと考えるが、所見を伺う。（部長）
- ⑥ 現場の正確な実態をつかんだ上で、勤務環境改善対策を講じるべきである。県として、具体的な実態をつかむためにも、夜勤実態調査、時間外勤務の実態調査、休職率調査（休職原因、復職の有無など）を実施すべきと考えるが、所見を伺う。（部長）
- ⑦ 安全・安心の医療を確立するためには、看護師の大幅増員と勤務環境改善が求められる。看護師をはじめとする医療労働者への感謝と期待のメッセージ、ならびに、さらなる看護師確保対策推進の決意を伺う。（知事）

3. 中国電力の原発再稼働表明について

- ① 中国電力の安全審査申請表明は、原発再稼働宣言と考える。この局面において知事の認識を問う。
 - (1) 福島原発の事故原因は究明されたと思うか。
 - (2) 新規基準は、安全を担保する万全の基準と考えているのか。
 - (3) 実効ある避難計画は、策定されたと考えているのか。
- ② 中国電力が国への安全審査申請を急ぐのは、原発再稼働が目的と考えるが、知事の所見を伺う。（知事）
- ③ 新基準（中電の安全対策）は、過酷事故を想定しながら、汚染される冷却水処理や地下水調査・対策が含まれていない。汚染水対策が何一つ盛り込まれていない新基準（中電の安全対策）をどう考えているのか、所見を伺う。（知事）
- ④ 科学者は、日本列島は地震の活動期に入ったと警告している。新基準には、福島事故の契機となった東北地方太平洋沖地震の知見が何一つ反映されていない。基準地震動の見直し、検証のない新基準は、地震対策として不十分と考えるが、所見を伺う。（知事）
- ⑤ 安全審査申請の事前了解は、原発再稼働の道にほかならない。拙速に、年内に結論を出すなど論外であり、県民の意見を十分に聞くべきである。安全審査申請の事前了解を了承すべきではないと考えるが、所見を伺う。（知事）

4. その他